



4大認知症で異なる摂食嚥下障害の理解と  
食事支援の実際を学ぶ



# 認知症高齢者の 食べる喜びを支えるケア

※講義時間：140分

認知症高齢者が“食べない”時の  
気持ちに寄り添った具体的な食事支援

**山田律子氏** 北海道医療大学 看護福祉学部  
地域保健看護学講座(老年看護学部門) 教授

1992年に東京大学大学院医学系研究科修士課程修了、2002年に北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士課程修了し、博士(看護学)を取得。訪問看護や高齢者医療施設での実践や研究、老年看護学教育や認知症看護認定看護師教育に携わり、2009年より現職。日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士。『認知症の人の食事支援book 食べる力を発揮できる環境づくり』(中央法規出版 2013年)など認知症の人の食事支援に関する書籍や論文多数。各種講演など普及活動にも務めている。

録画配信 [視聴期間]  
オンライン 約2週間 申込2~3日後から  
視聴できます。

受講料 一般 13,000円 会員 10,000円  
税込 ※講義時間140分の録画配信セミナーです。  
※教材:PDFテキスト付(ダウンロード、プリントアウト可)  
冊子テキスト(50頁)ご希望の方は別途1,500円  
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

## プログラム

1. 「食べること」と摂食・咀嚼・嚥下機能の加齢変化  
(1) 人間にとっての「食べること」の意味  
(2) 摂食・咀嚼・嚥下のメカニズムと加齢変化
2. 認知症による食事への影響とケアの視点  
(1) 認知症高齢者の行動を理解するために  
(2) 食べない時の真意と認知症による食事への影響  
(3) 認知症高齢者の食事ケアの視点:環境づくりの重要性
3. 4大認知症と重症度を踏まえた  
食べる喜びを支えるケア  
(1) 4大疾患で考慮すべき摂食・咀嚼・嚥下障害の特徴  
●アルツハイマー型認知症、血管性認知症、  
レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症  
(2) 見直すべきケアや整えるべき環境  
(3) 認知症高齢者への食事ケアの実際
4. 終末期にある認知症高齢者への食事ケア  
(1) 終末期の経過と食事  
(2) 最期まで美味しく口から食べるために必要なケアスキル  
(3) 誤嚥性肺炎の予防
5. 認知症高齢者の栄養状態の評価  
(1) 高齢者の低栄養の特徴 (2) 低栄養の評価方法

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 17176

## 関連雑誌 現場実務のスキルアップ!

認知症看護と看取りの実践・教育に!  
**臨床 老年看護**  
B5判 96頁  
入会金 3,000円  
年間購読料 18,900円(共に税込)

Web教材+実務専門誌(定期刊行物・会員制)

- 今後の特集
- 一般・療養病床における高齢・認知症患者のケア[5-6月号]
  - がんの知識と高齢がん患者の看護[5-6月号]
  - グリーフについて考える[5-6月号]
  - 高齢者のうつ病・うつ状態の理解と看護[7-8月号]
  - 睡眠と睡眠障害について考える[7-8月号]
  - 老年看護学教育の工夫と実際[7-8月号]

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰



## 日総研 接遇大賞

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を  
Webで公開中

## 国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所  
**社会福祉士養成所 通信課程**  
**精神保健福祉士養成所 通信課程**

お問合せ TEL: 0120-054977 URL: www.nissoken.com